

トピックス 1

平成 23 年度～平成 32 年度

財政計画を策定

合

併前の平成 17 年 2 月に策定したまちづくり計画（新市建設計画）の中で、財政計画が策定されていましたが、合併後 5 年が経過する中、経済情勢や社会情勢等の変化により、事業計画と実施事業との隔たりが見られてきたため見直しを行いました。

今回の財政計画は、今後の財政運営の指針とするもので、過去の財政状況や現在の財政制度等を参考に、合併による財政支援や実施計画による事業を勘案、また、策定期間についても旧合併特例債の活用期限（平成 27 年度末）を鑑み、平成 23 年度からの 10 年間としています。

今後も経済動向や地方財政計画等により、必要に応じ見直しを行う予定です。

（計画表は市ホームページでご覧いただけます）

どを計上していますが、全体としては若干の減額となっています。

衛生費は、予防接種事業の 1 億 5 3 4 9 万 3 0 0 0 円や子宮頸がん等ワクチン接種事業の 2 億 2 1 3 万円などで増えています。安曇野赤十字病院建設事業の終了に伴い、全体としては大きく減っています。

消防費には、22 年度に引続きデジタル移動系防災行政無線の整備（1 億 9 4 9 6 万 2 0 0 0 円）、また同報系防災行政無線整備設計業務・消防車両更新事業などを計上し、商工費には市制度資金貸付事業（預託金を含む）に 8 億 9 2 4 9 万円を盛るなどしています。

歳出

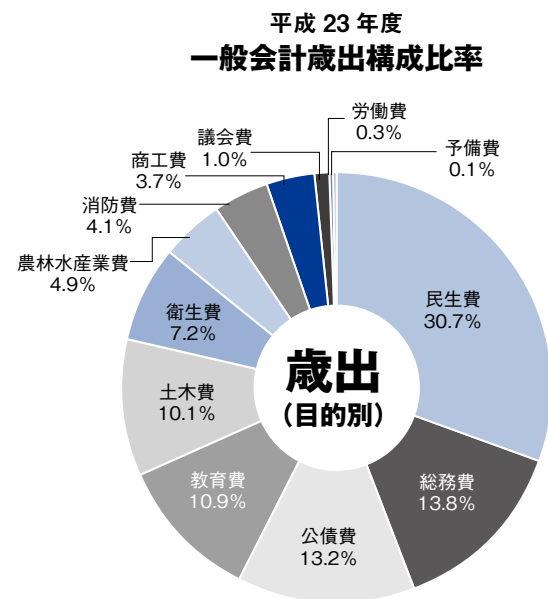
歳出では、予算編成方針に基づき、さまざまな事業の実現化が図られています。

特に「民生費」「総務費」で伸びが大きくなっています。

全体の 30・7％を占める民生費には、福祉医療費給付事業（5 億 6 8 5 万 4 0 0 0 円）、子ども手当（21 億 6 9 1 0 万 8 0 0 0 円）、公立保育園整備事業（2 億 7 1 9 6 万 2 0 0 0 円）などがあります。

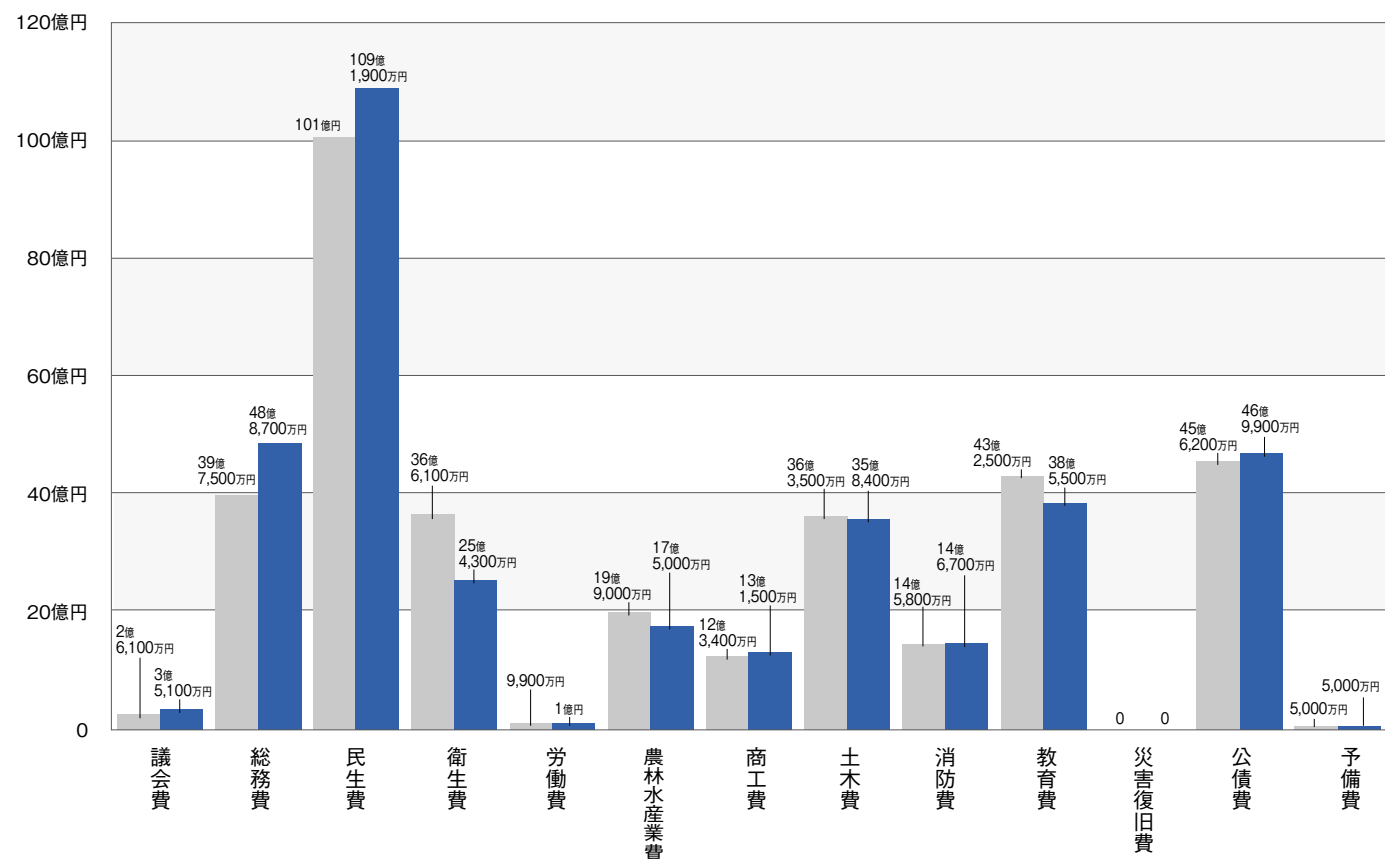
総務費には、明科総合支所等施設改築事業（3 億 5 0 6 9 万 2 0 0 0 円）や本庁舎建設事業経費（本庁舎建設基金の積立を含む）（2 億 1 6 5 万 1 0 0 0 円）、地域振興基金積立金（6 億円）などがあります。

教育費は、障害児支援講師外賃金に 1 億 3 5 2 1 万 1 0 0 0 円を、また北部学校給食センター建設事業に 8 億 1 1



歳出予算の増減

■平成 22 年度
■平成 23 年度



トピックス 2

市民 1 人当たりの予算額は？ 合計 35 万 7,661 円
(人口 99,312 人 H23.4.1 時点)

総務費

4 万 9,210 円

庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計など

衛生費

2 万 5,607 円

健康増進、疾病予防、環境保全、清掃費など

商工費

1 万 3,244 円

商工業や観光の振興など

消防費

1 万 4,776 円

消防や火災予防、水防など

公債費

4 万 7,315 円

市債の元利償還金

民生費

10 万 9,941 円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護など

農林水産業費

1 万 7,625 円

農林業振興、生産基盤整備など

土木費

3 万 6,085 円

道路、河川、公園など社会資本基盤整備など

教育費

3 万 8,821 円

学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興など

その他

5,037 円

議会費、労働費など